

平和を守るために忘れてはならないこと — 米倉齊加年さんによる講演と朗読 —

戦争ではたくさんの人たちが死にます。そして老人、女、子どもと弱い人間から飢えて死にます。私はそのことを忘れません。

でも、もっと忘れてはならないことがあります。

私の弟が死んだ太平洋戦争は、日本がはじめた戦争なのです。そして、朝鮮、韓国、中国、東南アジアの国々、南方諸島の人たちをどんなに苦しめたことでしょうか。そのことを私たちは忘れてはならないと思います。そのことを忘れて、私たちの平和は守れないでしょう。（『おとなになれなかった弟たちに…』あとがきより）

戦後60年の節目の年、米倉齊加年さんを講師にお招きし、絵本『おとなになれなかった弟たちに…』に描かれたご自身の戦争体験から平和への思いを語って頂きます。そして「平和を守るために忘れてはならないこと」を共に考えたいと思います。

<非戦のまち・くにたちの会について>

2004年6月、国民保護法が制定され、戦争に協力するまちづくりが着々と進められるなか「非戦のまち・くにたちの会」は活動を開始しました。「くにたちを戦争に協力しないまちとすること」を目的に、第1・第3火曜日の夜に学習会を国立市公民館で行なっています。現在、学習会の参加者は15名程で、その構成は20才を越えたばかりの大学生から77才のシニアまで、また、これまでこのような活動に積極的にかかわってきた方もいらっしゃいますが、初めてという方もいらっしゃいます。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

発足以来、月2回の学習会と並行して、広く市民に呼びかけるイベントも月1回のペースで開催してきました。これまでに、広河隆一さん、澤野義一さん、前田朗さん、池上洋通さん、東澤靖さん、濱井隆治さん、鎌仲ひとみさん、國弘正雄さん、森住卓さんなどをお招きし、平和や国際人道法をテーマに写真展、連続セミナー、講演会、映画上映会を開き、また、国立市職員の方々をお招きして、「国立市平和都市宣言と国立市の平和政策」や市議会のはたらきについて学習する場を持ちました。

URL ⇒ <http://peace.cside.to/kunitachi.htm>

米倉齊加年（よねくら・まさかね）さん

1934年福岡に生まれる。

俳優 演出家 絵本作家 絵師。

1967年 新劇演技賞。

1967年 第1回紀伊國屋演劇賞。

1976年 『魔法の使い方を教えます。』で、ポローニャ国際児童図書展グラフィック大賞。

1977年 『多毛留』でポローニャ国際児童図書展グラフィック大賞。

1981年 日本アカデミー助演男優賞。

1988年 第23回紀伊國屋演劇賞。

絵本：「多毛留」「人魚物語」「おとなになれなかった弟たちに…」

切手：1987年郵政省記念切手・日本の歌シリーズ、切手原画「椰子の実」を描く。

1987年より絵本『おとなになれなかった弟たちに…』が中学1年生向け国語教科書（光村図書）に採用され、現在に至る。



桐朋学園講堂

- 国立駅南口より
 - 徒歩15分
 - 立川バス(4番乗り場) 矢川駅行き・谷保駅行き・国立西循環「桐朋学園」下車
 - 京王バス(3番乗り場) 府中駅行き・聖蹟桜ヶ丘駅行き「桐朋」下車
- 谷保駅北口より
 - 徒歩15分
 - 立川バス 国立駅行き「桐朋学園」下車

平和を守るために忘れてはならないこと — 米倉齊加年さんによる講演と朗読 —

2005年6月26日(日)開場13:30/開演14:00

桐朋学園講堂

大人1200(前売1000)円 高校生以下600(前売500)円

当日精算券

本券にて4名様まで前売料金で先着順にご入場いただけます。入場の順序は、前売り券をご購入下さった方が優先となります。